

議会だより

# たまがわ

## 12月定例会

第138号

平成27年2月4日

福島県石川郡  
玉川村議会

住所 石川郡玉川村大字小高字中畷9  
TEL 0247-57-4630

発行責任者 須藤利夫  
編集委員会 小林徳清・車田悦夫  
渡邊一雄・塩澤重男

鈴木忠雄  
印刷 南円谷印刷



## さらなる 飛躍の年に

### 主な内容

第1回・第2回臨時会	2~3
12月定例会の条例制定 条例の改正、補正予算など	3~4
12月定例会一般質問	5~7
各種話題、議会のうごき	8

須釜中学校の生徒の皆さんです。去年は、部活動では県南総合大会で剣道男子団体と卓球個人で準優勝するなどすばらしい成績を収めました。平成27年を元気に迎え、1・2年生は勉強に運動に、3年生は受験に、気持ちを新たにそれぞれの目標に向かって今年一年がんばります。

審議議案と各議員の賛否

○は賛成、×は反対、提は提出者、欠は欠席 須藤議長は採決に加わらないため空欄

(第1回臨時会：11月7日)

Table with 11 columns: 議案番号, 議案名, 採決, 車田, 渡邊, 塩澤, 小林, 鈴木, 飯島, 大和田, 田子, 西川, 三瓶, 須藤. Rows include 議案第54号 and 議案第55号.

(第2回臨時会：11月25日)

Table with 11 columns: 議案番号, 議案名, 採決, 車田, 渡邊, 塩澤, 小林, 鈴木, 飯島, 大和田, 田子, 西川, 三瓶, 須藤. Row includes 議案第56号.

(12月定例会)

Large table with 11 columns: 議案番号, 議案名, 採決, 車田, 渡邊, 塩澤, 小林, 鈴木, 飯島, 大和田, 田子, 西川, 三瓶, 須藤. Rows include 議案第57号 through 議案第75号 and 発議第8号.

※読みやすくするため、議案件名を一部省略、議事の進行の順序を入れ替えています。

議会を傍聴しませんか

12月定例会の傍聴人数7人(平成26年累計傍聴人数35名)

次回の定例会 3月初旬予定

第1回臨時会

平成26年11月7日に開催された臨時会は、玉川村教育委員会委員の任期満了に伴う後任委員の任命の同意を求める件と、一般会計補正予算(第3号)が審議された。

酒井裕之さんの任命に同意

教育委員長の川崎聖幸氏が11月23日で任期満了となるため、その後任委員に、川辺の酒井裕之氏(46)が同意された。



酒井裕之氏

一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ2247万6千円を追加し、予算総額を40億1955万8千円とするものである。なお補正の主なもの、表1のとおりです。

第2回臨時会

平成26年11月25日に開催された臨時会は、一般会計補正予算(第4号)が審議された。

表1 第1回臨時会 一般会計補正予算(第3号)の主なもの (単位:千円)

Table with 4 columns: 区分, 款, 補正額, 備考. Rows include 歳入 (地方交付税, 国庫支出金, 村債) and 歳出 (総務費, 災害復旧費).

表2 第2回臨時会 一般会計補正予算(第4号)の主なもの (単位:千円)

Table with 4 columns: 区分, 款, 補正額, 備考. Rows include 歳入 (県支出金, 繰入金) and 歳出 (総務費, 教育費).

歳入歳出それぞれ6460万円を追加し、予算総額を40億8415万8千円とするものである。なお補正の主なもの、表2のとおりです。

**問** 鈴木忠雄議員 認定子ども園は、民設民営化なのか。現在の保育所・幼稚園はどうするのか。

**答** 村長 民設民営化が進める。保育所・幼稚園は認定こども園に移行と同時に廃止する。

**問** 鈴木忠雄議員 認定子ども園を運営するにあたり、保育士・幼稚園教諭の体制は。

**答** 丹内教育課長 受け入れ幼児数280名を現在想定し、正職員30名、臨時職員16名を予定している。

**問** 塩澤重男議員 事業主体が、社会福祉協議会であるが、全額村負担で行うのか。

**答** 村長 村で予算措置をし、補助金と職員を派遣する。

**問** 三瓶力議員 子ども園建設に約9億円を予定しているが、県補助金2億円、残り7億円を村が負担するのであれば、当初予算に計上しなければならなかったのではないか。

**答** 丹内教育課長 今年度に入ってから福島県から民設民営であれば、補助金でこの回答を得た。

**問** 三瓶力議員 耐震工事が完了している川辺小を利用できないか。

**答** 丹内教育課長 非常時の避難などを考え、平屋建てを予定している。

**問** 鈴木忠雄議員 民設民営化するメリットはなにか。

**答** 村長 民設民営の場合、財政面で国と県の支援が得られる。

**問** 田子武幸議員 民設民営でも、一切村が責任を持つて対応するのか。

**答** 村長 村が資金面や人的なバックアップ体制をとる。

**問** 三瓶力議員 国の補助制度の見直しを検討されている中、認定子ども園に移行するところが12%と低く、民設民営のメリット・デメリットを検討したのか。

**答** 村長 玉川村にあった子ども子育て支援体制づくりを検討して民設民営の方式を採用した。

反対討論

鈴木忠雄議員

運営の自身が不明確で、建設を急いでいるのは、県補助金2億円目当てではないか。多くの村民は、運営を民間が行うことを知らない。玉川村社会福祉協議会が建設管理運営ができるか心配である。今後運営のために一般会計からの多くの補助金を受けたいと運営ができないので、反対する。

賛成討論

大和田宏議員

子供たちがより良い環境の中で、

しっかりとした教育ができる施設の必要性を十分認識をしているので、スムーズに取り組みべきと考える。

施設などの運営については、今後解決しなければならぬ課題があると思われるが、今回の補正予算は、敷地造成工事であるので、賛成である。

12月定例会

**あ** 玉川村議会12月定例会は12月12日から16日までの5日間の会期で開催されました。  
**ら** 今回の議会では、条例の制定や改正の議案13件、補正予算議案5件、契約議案1件が提案されました。  
**ま** また、一般質問には3名の議員が登壇し村執行部の考えを質しました。

保育の必要性の認定に関する条例の制定

「子ども子育て支援法」が平成27年4月1日に施行されることにより、定めるものである。

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

児童福祉法の改正により、事業所の必要面積、支援員の数、開所時

間、運営方針、利用料金を明確にした運営規程を定めるものである。

保育所設置条例の一部を改正する条例

「子ども・子育て支援法」が平成27年4月1日から施行され、「保育の実施基準」が「保育の必要性の認定」に変更となったため改正を行うものである。

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

福島県人事委員会の勧告に基づき、一般職の職員について、若年層の職員を対象に給料月額を平均で0・16%引き上げるほか、勤勉手当の支給月数を年間で0・15月引き上げるなどの改正を行うものである。

村長等の給与に関する条例の一部を改正する条例

議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

教育長の給与・勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部を改正する条例

特別職の国家公務員の給与改定を踏まえ村長などの期末手当について支給月数を年間で0・15月引

き上げるなどの改正を行うものである。

村税条例の一部を改正する条例

平成27年度から、小型特殊自動車の農耕作業用のものが400円、その他のものを1200円引き上げるための改正である。

**問** 小林徳清議員 なぜ今になったのか。増税による税収の見込みは。

**答** 本田税務課長 その他の軽自動車税は、国の通達により今年6月改正済みで、今回は村が独自に判断して課税できるものです。改正により、農耕作業用505台で20万2千円、その他のもの22万台で2万6400円、合計22万8400円の見込みです。

反対討論

小林徳清議員

米価が大幅に採算割れをしている中での増税はさらに負担を強いて、生産意欲のさらなる低下につながる。追いつきをかけるような今回の条例改正に強く反対する。

村税特別措置条例の一部を改正する条例

企業立地促進法に基づき指定さ

れた集積区域について、固定資産税の課税免除または不均一課税にかかる基本計画の適用期間を延長するための改正である。

### 村上水道事業給水条例の一部を改正する条例

須釜簡易水道事業を村上水道事業に統合することによる附則の追

### 村上水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

計画給水人口を5790人に、一日最大給水量を2270立方メートルに改めるものである。

加と、簡易水道事業の給水区域を水道事業の給水区域に組み込むための改正をするものである。

### 村簡易水道条例を廃止する条例

村上水道事業への統合による条例の廃止である。

### 村簡易水道事業特別会計条例を廃止する条例

村上水道事業会計への統合による条例の廃止である。

### 上水道事業会計補正予算(第2号)

収益的支出の営業費用を200万円増額し、営業外費用を200万円減額するものである。 ※収益的支出の主なもの

- ・ 原水及び浄水費 757千円
- ・ 配水及び給水費 170万円
- ・ 総務費 △45万7千円
- ・ 消費税及び地方消費税 △200万円

※資本的収入の主なもの

- ・ 補償費 159万9千円
- ・ 出額に対し不足する額9961万6千円は、過年度分損益勘定留保資金と当年度分消費税資本的支出調整額で補てんします。

### スクールバス購入契約締結

スクールバス一台を購入するため、議会の議決を求めらるるものである。

### 受注者

- 三菱ふそうトラック・バス(株) 東北ふそう白河支店
- 契約金額 588万8160円

### 陳情

国に対し「東日本大震災の被災者に対する援助のための日本司法支援センターの業務の特例に関する法律」の有効期限を延長する立法措置を求める意見書の提出を求める陳情

### 【陳情者】

福島県弁護士会 会長 笠間 善裕

付託を受けた文教厚生常任委員会で審議した結果、採択することに決定した。

本会議において委員会審議結果を報告したところ、全員異議なしで採択された。

### 意見書(議員発議)

「東日本大震災の被災者に対する援助のための日本司法支援センターの業務の特例に関する法律」の有効期限を延長する立法措置を求める意見書について、議員発議で本会議提案され、全会一致で可決された。意見書は、内閣総理大臣ほか政府関係機関に提出された。

表3 一般会計補正予算(第5号)の主なもの (単位:千円)

区分	款	補正額	備考
歳入	村税	9,598	法人税
	県支出金	205,389	安心こども基金事業補助金
	財産収入	3,320	不動産売却収入
	繰入金	173,000	学校等建設基金繰入金
歳出	民生費	9,513	障害福祉サービス
	衛生費	5,638	一般廃棄物処分場建設関連事業
	農林水産業費	9,922	農業系汚染廃棄物処理事業
	教育費	358,852	安心こども基金事業

歳入歳出をそれぞれ1209万3

### 介護保険特別会計補正予算(第2号)

7千円を増額し、予算総額を44億7752万5千円とするものである。なお補正の主なものは、表3のとおりです。

表4 介護保険特別会計補正予算(第2号)の主なもの (単位:千円)

区分	款	補正額	備考
歳入	国庫支出金	10,009	調整交付金
	繰入金	2,084	事務費繰入金
歳出	総務費	2,085	介護システム修繕委託料
	保険給付費	19,002	介護サービス等諸費
	基金積立金	△8,993	基金積立金

とおりです。

### 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出をそれぞれ328万5千円増額し、予算総額を5167万

表6 農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)の主なもの (単位:千円)

区分	款	補正額	備考
歳入	使用手数料	1,200	下水道使用料・手数料
	繰入金	745	一般会計繰入金
歳出	総務費	1,945	総務管理費

9万7千円とするものである。なお補正の主なものは、表6のとおりです。

### 農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

表5 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の主なもの (単位:千円)

区分	款	補正額	備考
歳入	後期高齢者医療保険料	3,744	
	繰入金	△459	保険基金安定繰入金
歳出	後期高齢者医療広域連合納付金	3,284	

歳入歳出をそれぞれ194万5千円増額し、予算総額を1億300

3人の議員が村政を問う

通告者	質問事項
塩澤 重男	1. 玉川村の振興計画について 2. これからの農業振興について
小林 徳清	1. 村民懇談会について 2. 公園の案内看板設置について
大和田 宏	1. 平成27年度の予算編成に対する基本方針は何か



塩澤重男議員

Q 玉川村の振興計画について

- 問** 滞納は重大な不公平。村税などの滞納対策は改善されているか。
- 答** 滞納者に対して厳正に対処し、個々の状況に合った滞納対策を進める。
- 問** 滞納対策本部での活動、成果は。
- 答** 毎月庁議で表により改善を検討している。
- 問** 議会ですら採択された請願は、新年度予算に反映されているか。
- 答** 反映させていく考え。請願は村民の声。議会ですら積雪15センチが除雪の目安。
- 問** 冬季の除雪体制は。
- 答** 除雪業務委託業者6社。
- 問** 現在一人暮らし86名。支援体制は、緊急通報システム利用者23名。丸洗い乾燥事業に22名が利用している。
- 問** 一人暮らしの高齢者支援体制は。
- 答** 極力数件以上努める。
- 問** 採択した。放置して置けば議会と村政不信につながる。議会は実現にむけ努力する義務と責任がある。取り組みに対する村長の考えを伺います。
- 答** 一人暮らしの高齢者支援体制は。

Q いれからの農業振興について

- 問** 米価下落で農業振興に及ぼす影響とその対応は。
- 答** 生産農家の高齢化が進み、耕作放棄地の増加が懸念される。対応策として、「人・農地プラン」を策定し、農地中間管理事業を取り込んだ体制づくりを推進して大規模経営への転換を図る。
- 問** 肥料や種モミの補助金は検討できないか。
- 答** 種モミ購入の補助には難しい点もあると考えている。
- 問** 飼料用米の普及は。
- 答** JAでは普及させたい意向。
- 問** 特産品「サルナシ」の普及と展望は。
- 答** サルナシは全量こぶしの里で買い上げ、ジュース・ワイン・ジャムなどに加工販売している。さらなる生産体制の拡充・新たな販売体制をするには生産組合との協議が必要である。
- 問** 区ごとに「人・農地プラン」の説明会開催は。
- 答** 6次化で新商品の開発は。積極的な対応を図る。
- 問** 説明会の開催計画はない。やる気のある地域に関与していく。
- 問** 制度を理解していない農家が多い。周知徹底は。
- 答** 個々の農家への説明はしない。区長に説明している。地区の代表者が知ることが大事。
- 問** 農道及び農業用水路の整備は。
- 答** 農業振興策と合わせ総合的に検討。

- 問** 路線名や担当業者の周知は。
- 答** 今まで周知したことはない。
- 問** 行政区長との協議は。
- 答** 豪雪の時に協議し区長の要望に応える。
- 問** 若者の定住促進と雇用対策は。
- 答** 地域おこし協力隊を募集。「空き家・空き地情報」の構築。民間による、川辺宮ノ前地区で25区画が販売される。
- 問** 旧ポリマテック跡地をTBKが買収し新たな雇用が期待される。
- 問** 北の住宅の雨漏り修繕は。
- 答** 商工会に委託し12月中旬に終了。
- 問** 集落排水に接続する場合補助金は。
- 答** 排水マスまでは村で設置。宅地内は個人負担で補助はしない。
- 問** 地方創生(まち・ひと・しごと)玉川村の取り組みは。
- 答** 市内に地方創生に関するプロジェクトチームを立ち上げる。
- 問** 防犯灯の電気代は全額村で負担すべきと考えるが。
- 答** 現在村で行政区に対し二分の一を補助。今後財政状況を勘案しながら総合的に検討する。
- 問** 他町村の取り組みは。
- 答** 2町村は全額負担。他の2町村は町村設置の分は町で負担。区設置の分は維持管理は区が負担。



### 小林 徳清 議員

**Q** 村民懇談会は、**A** 意見、要望に対応可能な内容は、迅速に対応する。

**問** 村民の声を直に聞く目的で、懇談会が数年ごとに開催されている。今年6月16日から7月14日にわたり、各行政区にて開催された。いただいた意見、要望は庁議で検討し村政運営に反映されていると思うが、対処と対応は。また来年度予算化される事業はあるか。

**答** 様々な意見、要望をいただいている。できる限りその場で回答し、確認が必要なのは担当課長から、現状や進歩状況などを聞き、対応可能な内容については迅速に対処するよう指示している。また一覧表にまとめ庁議において各課長と内容の情報の共有化を図っている。

要望などに新たな予算措置

が伴うものがあり、限られた財源の中で推進している。緊急性、重要度を精査し対応する。

**問** 来年度の予算要求は作業中であり、いただいた意見、要望の内容をよく精査し来年度予算に反映させていく考えである。

**問** 山小屋地区において、集落営農に係る事務的支援の要請に対し、情報収集しながら進めると答えられたが。

**答** 積極的に支援している。土地利用計画、農振法の見直しの質問に対し、見直しを考へ進めると答えられたが、その考えに違いはないか。

**問** 担当部署にお願いしている。中地区において、「専業農家に対するモデルとなるよ

うな助成」はその意見に検討すると答えたが。

**答** 認定農業者に助成している。

**問** 岩法寺地区において、県道の法面に生い茂った草木が歩道に覆いかぶさり歩きにくいとの苦情に、県にお願いすると答えられたが未だに処理されていない。県の管理責任なので適時適切に伐採処理を要望していくべきと思うが。

**答** 県には担当課を通じて要望している。

**問** 竜崎地区において、空港西線デイルー東側坂道部分に防犯灯設置の要望については。

**答** 防犯協会にて設置の方向で検討する。

**問** 竜崎地区において、少年ソフトボール全国大会出場に対する補助が少なすぎるとの意見があり、全国規模の大会への出場は村にとって名誉な事でありますが遠征は費用の負担が大きき、激励金を増額する必要があると思うが。

**答** 村としても検討する。

**Q** 公園の案内看板設置は、**A** 設置をする方向で考えている。

**問** 乙字ヶ滝は日本滝百選の名瀑であるが、所在を示す案内看板が設置されていない。当村の存在と観光客の誘導を促すためにも、国道沿いに設置すべきと思うが。

**答** 乙字ヶ滝は本村の観光資源としても大きいので、玉川村の観光地である乙字ヶ滝へ

の観光客の誘導をするため、案内看板は必要であり設置をする方向で考えている。

**問** 同公園に係ることで、駐車場域外に車の進入を防ぐ手だてを講ずるべきと思うが。

**答** 看板表示で対応する。**問** 桜の枯れ枝の剪定と、古木でもあるので新たに植栽す

る考えは。**答** 全体的な見地から検討する。

**問** 村道脇、公園内にある松が数年にわたり枯れた状態であるが、民家に近く住民に被害を及ぼす可能性があるので、早急に伐採処分すべきと思うが。

**答** 今回、公園内にある松については補正予算で対処する。



今年になって法面の草木が伐採され整備された県道福島空港西線



大和田 宏 議員

Q 平成27年度の予算編成に対する基本方針は何か。

A 5つの柱を基に施策を展開し、さらなる飛躍の年につなげていきたい。

問 「未来へつながる村づくり」元氣な「たまかわ」を目指し、時代の変化に的確に対応できるよう、当初の計画に沿って行政運営に取り組みされていることと思います。

平成27年度の予算編成に当たり、現在の進捗状況を確認し、しっかりとした方針を掲げ進めていくことが大切であると考えます。

そこで、次の2点について伺います。1点目は、平成27年度の基本方針はどう考えているか。2点目は、この基本方針に沿って行政運営するに当たり、職員体制をどのように考えているか。

答 1点目の基本方針であります。1点目の基本方針であります。1点目の基本方針であります。

気な「たまかわ」の実現に向け、進取の気質をもって問題・課題解決に向けて対応していく考えである。

主な施策としては、①「豊かな人間性、郷土を愛する心を育む村づくり」で、玉小・川辺小が統合し新たなスタートとなるので、環境施設整備や体制づくりにしっかりと取り組んでいきます。また、幼稚園と保育所を一体化した(仮称)認定こども園の建設・運営を社会福祉協議会に移管し平成28年4月開設に向けて推進していきます。②「共に支え合い生き生き暮らせる村づくり」で、社会保障制度の充実を図り、保健・医療・福祉体制の整備により、村民が元気に暮らせる村づくりを推進し、「健康の駅たまかわ」は、村民の健康増進や健康寿命の推進を図り、健康交流の拠点として親しまれる運営を目指していきます。③「環境にやさしく快適で安心して暮らせる村づくり」で、生活道路などの改良整備や維持管理に努め、上水道給水区域の拡大に向けた施設整備を行い、四辻

新田地区などの新たな水源を活用した計画をより具体的なものにしていきます。農業集落排水事業では、新規地区の認可申請を行い、整備促進に向けて計画していきます。④「魅力的で活力に満ちた村づくり」で、農業・商業・工業と調和のとれた産業の振興を推進していきます。⑤「人の交流により、人と地域が輝き、時代の変化に的確に対応できる村づくり」で、村内の観光資源や近隣の観光資源などと連携し、観光交流による活性化を推進していきます。地域おこし協力隊を採用し、新たな視点からの発想を取り入れ、人の交流・地域の交流を促進し、村民の皆さんと手を携え協働による村づくりに取り組んでいきます。

「第5次玉川村振興計画」のもと、基本方針の推進、基本施策を展開し、復興・再生を確かなものにし、さらなる飛躍の年につなげていきたい。

2点目の職員体制であります。2点目の職員体制であります。2点目の職員体制であります。

て資質の向上が不可欠であり、限られた職員の中で、意識改革や学習、そして研修や体験を通して行政サービス職員としての資質向上に努め、適切適所による重点施策への配置を検討するとともに、地域おこし協力隊の有効利用に努めていきたい。

問 今後の村内の小・中学校のあり方の検討については。答 26年度中に検討委員会を立ち上げ進めていきます。

問 新規の農業集落排水事業の地区はどこか。答 蒜生・小高・岩法寺地区を進めている。

問 平成27年度の予算編成については、5つの柱を基に進められる考えのようですが、石森村長の任期が来年4月までであり、今後取り組まなければならない課題が山積しているわけですが、これらの課題解決のため三期目への出馬についてどう考えているか。

答 多くの村民のご理解とご支援をいただけるのであれば、課題解決のため引き続きその任務に当たってまいります。



平成27年新成人の皆さん

# 1/11 村成人式

## 『あきらめない気持ちをもつ』 新成人を激励

玉川村成人式は午前10時30分からマーヴェラス末広で開かれました。今年の成人者は76名で、石森村長の式辞のあと近内教育委員長のあいさつ、須藤議長からお祝の言葉が贈られました。村議会からも議員が出席して新成人者をお祝いしました。

# 11/27~28

## 常任委員会合同行政視察研修

宮城県里美町徴収対策課を訪問し税滞納対策についての研修と、宮城県登米市(有)伊豆沼農産で6次産業化の取組みについての研修をした。

福島市児童養護施設アイリス学園を訪問して、地域住民との関わり方について意見交換をした。



税滞納対策について意見交換

# 議会のうごき

## 11月

- 1日 玉川村文化祭(たまかわ文化体育館ほか)
- 2日 第4回たまかわ産業まつり(たまかわ文化体育館ほか)
- 7日 第1回臨時会
- 7日 石川地方町村議会議員研修会(マーヴェラス末広)
- 9日 芸能発表会(たまかわ文化体育館)
- 11日 石川地方交通安全大会(古殿町)
- 12日 第58回町村議会議長全国大会(東京都)
- 14日 石川地方老人クラブ連合会芸能発表大会(たまかわ文化体育館)
- 16日 ふくしま駅伝競走大会
- 17日 福島県町村議会事務局長・職員研修会(福島市)
- 25日 第2回臨時会
- 27日~28日 両常任委員会合同視察研修(宮城県)

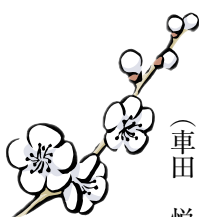
28日 玉川村教育懇談会(マーヴェラス末広)

## 12月

- 3日 石川地方町村議会事務局長会議(石川町)
- 5日 議会運営委員会
- 12日~16日 12月定例会
- 25日 石川地方生活環境施設組合議会定例会(石川町)
- 25日 公立岩瀬病院企業団議会定例会(須賀川市)

## 1月

- 5日 新春互礼会
- 8日 石川地方町村議会議長会(石川町)
- 8日 年始知事懇談会(福島市)
- 11日 消防団出初式(たまかわ文化体育館)
- 成人式(マーヴェラス末広)
- 16日 議会広報編集委員会(議員控室)



(車田 悦夫)

今年もいかなる災害や災難が起るかわかりません。常に、心の片隅に「万が一」の対策を忘れないで欲しいです。今年一年、皆様にとって平穏な年であることを願います。

さて、昨年は大雪や大雨、さらには御嶽山の噴火による災害で多くの人命が失われました。

昨年、長年の不摂生がたたり不本意な年にしてしまいました。健康に留意し、体力増強に努めていきたいと思います。

「二年の計は元且にあり」と申しますが、皆さんの今年の目標はなんでしょうか。今年も、皆様の声に耳を傾けながら村政の発展に努めてまいります。

新年明けましておめでとうございます。

# あ と が き